

普及現地情報

発信年月日:令和7年(2025年)4月24日
所 属 名:大津・南部農産普及課
番 号:A24001
発 信 者 名:宇野



南部地域で初！省力・地力向上を目指した子実用とうもろこし栽培開始！

野洲市の株式会社レイクスファームが南部地域で初めて子実用とうもろこしの栽培を開始されました。当課では、地域での高品質子実用とうもろこし生産のモデル農家として育成するため栽培技術習得の支援を行っており、4月9日には約1.4haで播種されました。

管内では、大津市北部地域において3年前から子実用とうもろこしの栽培が始まりましたが、管内の他地域ではこれまで栽培されてきませんでした。そのような中、土地利用型農家の野洲市の株式会社レイクスファームは、今後の規模拡大を見据えて省力化と地力向上が可能な子実用とうもろこしに注目され、今年度から滋賀県子実コーン組合に加入し、約1.4haで栽培を開始されました。南部地域では初めての栽培であるため、当課は栽培技術習得の支援を行っており、4月9日に播種技術の指導を行いました。播種作業の際には同社所有の大豆用高速畝立播種機を用い、播種機メーカー株式会社アグリテクノサーチの担当者と協力し、播種機の播種深度調整を行いました。その結果、適正播種深度である5cm程度で播種されました。4月15日には発根を確認しました。

当課では、今後も栽培技術習得による収量確保と輪作体系の確立に向けて支援していきます。



播種深度の測定



発根した種子